



再・再考フレスコバルディ そのインスピレーションの源泉へ

2020年1月12日(日) 14:00 (開場13:30)

講師：渡邊 孝 (チェンバロ奏者)

イタリア、17世紀前半の鍵盤音楽の歴史を考える上で、ジローラモ・フレスコバルディ(1583-1643)の存在を忘れることはできません。フレスコバルディ自身によって書かれたトッカータ集の序文は、彼の音楽を演奏する上で、また、深く理解するための指針となっており、これまでも多くの音楽学者、そして演奏家によって様々な解釈が試みられてきました。彼の作品は様々な側面から研究されていると言え、多くの再考を経て現在に至っています。今回これらの再考をもう一回再検討するという意味において『再・再考 フレスコバルディ』とのタイトルを選びました。フレスコバルディの音楽における独自性や重要性とともに、彼の考えていたルバートとは？そして、*per non lasciar voto l'istromento* とは？など再検討しつつ、彼のインスピレーションの源泉を紐解いていきます。

渡邊 孝 (Takashi Watanabe) 東京音楽大学ピアノ専攻卒業。桐朋学園大学研究科修了後、アムステルダム音楽院、ミラノ市立音楽院に学びディプロマを得て卒業。これまでにチェンバロを渡邊順生、ボブ・ファン・アスペレン、オルガンをロレンツォ・ギエルミに師事。ヨーロッパ各地のアンサンブルとの共演など、ソリスト、通奏低音奏者として活躍。ソロ CDでは『J. S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲』『スヴェーリンク：鍵盤作品集』がレコード芸術特選盤ほか高い評価を得た。2004年に結成した「アンサンブル・リクレアツィオン・ダルカディア」は、同年イタリア、ボンポルティ国際コンクールで第1位を得た。平成20年度文化庁芸術家在外研修生。2011年ボンポルティ国際古楽コンクールにおいて審査員を務める。ブルーニコの古楽講習会にてチェンバロのマスタークラスを受け持つ。現在スイス、ベルン音楽院チェンバロ科教授。NHK FM「古楽の楽しみ」案内役として出演中。

◆ 定員

50名(要予約) 定員に達した時点で締切らせて頂きます。

◆ 参加費

一般 3,000円 / 学生 1,000円

日本チェンバロ協会

会員・学生会員 無料 / サポーター 1,000円

※ 当日受付にて会員証、学生証のご提示をお願い致します。

★ 桐朋学園関係者・・・無料

208号室に掲示された予約表に記入してください。

ご予約・お問合せ

日本チェンバロ協会 例会係

cembalo_events@yahoo.co.jp

● メール件名に「フレスコバルディ」とご記入ください。

● 日本チェンバロ協会HPからもお申込み頂けます。

主催：日本チェンバロ協会

共催：桐朋学園大学古楽器科



桐朋学園大学音楽学部

調布キャンパス【222 教室】

〒182-0021 調布市調布ヶ丘1丁目10-1
042-444-7055 (代表)

京王線「調布」駅より 徒歩 10分